



# MUKUDA, Takatomo CIVIC Forum

ムクダ隆知市政フォーラム

平成31(2019)年3月号



## 子育て環境日本一を目指し 議論による政策の実現!

### 誰一人残さない、持続可能なまちづくり

京都の強みを活かした、豊かさを実感できる、安心・安全で子育てしやすいまちづくりを目指す予算

平成31年度予算も先般議決(共産党、日本維新の会は反対)したところでありますが、少子超長寿社会で医療・介護や福祉の経費が増え続ける中、依然厳しい財政状況であっても市民生活を守るため、総額1兆7223億400万円を確保しており、財政が厳しい中でも概ね評価できる予算であります。

公営企業である交通局では単年度黒字化は達成しておりますが、市バス818両の内530両を10年間で更新しなければならぬ時期を迎え

ており、毎年約10億円(総額約120億円)以上が必要であり、また地下鉄烏丸線の車両も間もなく開業40年を迎えるに当たり、9編成の更新時期が迫っております。

上下水道局でも、老朽化水道管更新や地震や豪雨等の自然災害対策を始め、整備事業に単年度でも約300億円以上が必要です。よって交通局・上下水道局の公営企業会計は2672億6600万円が計上されました。

### 持続可能な社会保障の 充実で人口減少に挑戦 長寿少子化社会に対応

私の目指す最優先施策の具現化、すなわち長寿少子社会に対応し、人口減少に歯止めをかけるためには、まちの活性化が重要ポイントであるひとの流れを創出し、またおだやかな人口年齢構造を取り戻すためには、ユニバーサルデザインを推進し「来てもらい、住んでもらえるまちづくり」を行い都市格の向上と、その魅力の発信をしなければなりません。

「生れ・育ち・学び・働き・人生をまっとうする」ためには、持続可能な社会

保障(医療・介護・子育て支援)と教育の充実が基本であり、そのためには大きな財源が必要です。

まずは子育て世代を中心とする現役世代の働く環境の整備、すなわち子育て支援で就労の安定化、そして雇用の創出による担税力の向上を図ることです。特に保育園事業の現場を預かるひとりとして、子育て支援施策については京都市独自の制度を強力に推進します。その上で伝統産業やそこから創造された新産業等、地域企業の下支えを行い、家計に景気回復を実感して頂くことであります。

市議員は最も身近な市民の代表として、市役所のお金の使い方が、市民の安心・安全なのちとくらしを守る政策に活かされているかを是非々々で点検・監視・評価し、市民の皆様の見のもとに福祉豊かな活力ある京都を目指す政策を提案・提言するのが役割であり仕事であると考え行動して参りました。

あつという間の2期8年間であり、実現できた施策とできなかった施策がありました。継続は力であるとしひしと実感しています。また継続事業であるビッグプロジェクトも数多くあります。

今後とも福祉・安心いちばんで、ハッキリ発言、しっかり仕事をモットーに、元気で優しいひとづくり・まちづくりに、全力投球で引き取り組んで参ります。

合掌

## 予算・決算特別委員会副委員長長の職務に全力投球!!

今年度は京都市会予算・決算特別委員会の副委員長を拝命し、大切な税金をはじめとする財源が、しっかりと市民のいのちとくらしを守る施策に反映しているかを、チェックするとともに、私なりに精一杯提案・提言をさせて頂きました。

## 目上に感謝し次世代にツケを回さない施策の推進!

### くらしに安心・豊かさ実感・未来に責任

京都に生まれ育ち、住み続けられたからこそ、強みと弱さを見極め、福祉循環都市・京都をめざしてライフワークを活かします。

